

## 沓掛時次郎 (1961)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 87分

初公開日 1961/06/14

## 【解説】

長谷川伸が発表し何度も映像化されている同名戯曲を、市川雷蔵主演で映画化した作品。脚本は「中乗り新三 天竜鴉」の宇野正男と「幽霊小判」の松村正温が担当し、監督は「天下あやつり組」の池広一夫が務めた。撮影は「用心棒」の宮川一夫。

信州沓掛生れの時次郎は渡世の義理から三蔵に斬りつけた。だがその原因が、溜田の助五郎による三蔵の妻おきぬへの横恋慕であることを知り、時次郎は助五郎に立ち向かった。だが助五郎は三蔵にとどめを刺し逃げてしまう。三蔵は妻と子供の太郎吉を時次郎に託すと、そのまま息を引き取った。逆に助五郎に追われる身となった時次郎は、幼い太郎吉を背負い、おきぬとともに彼女の父がいる足利宿へと急ぐが、おきぬが熊谷宿で病に伏せてしまう。時次郎は二人の面倒を見ると心に決めるのだが…。

## 【クレジット】

監督 池広一夫

企画 財前定生

原作 長谷川伸

脚本 宇野正男

松村正温

撮影 宮川一夫

美術 西岡善信

音楽 斎藤一郎

出演 市川雷蔵

新珠三千代

杉村春子

島田竜三

青木しげる

稲葉義男

志村喬

千葉敏郎

須賀不二夫

清水元

村上不二夫

高倉一郎

寺島貢

滝花久子

荒木忍

橋幸夫